

プレアヴィヒア ナチュラルプロジェクト

日本カンボジア文化産業振興会

コロナ禍でも出荷は順調に



先月、首都プノンペンでロックダウンが発令されてから、各地で州間ごとに検問が張られるなど物流にも支障が大きくなりました。プノンペン内でもレッドゾーンやイエローゾーンと区画分けされました。プノンペンのマーケットも全て封鎖されましたが、現地の近隣コミュニティでは出荷している魚は評価が高まり、池まで買い付けに来られる方など、出荷量は継続して増えていきました。早朝の出荷では、三時から収穫をスタートすることもあり、現地でサポートしてくれているメンバーが大変頑張ってくれています。

編集後記

カンボジア各地で道路の整備や住宅の建設、プノンペンでは高層ビルの建設もたくさん進んでいます。道幅を広げる工事では、決められた道幅をきっちり工事していくので、軒先を削り取られている光景も目にします。ナチュラルプロジェクトを行っている現地の村でも砂利道で、悪路だった道路がアスファルトの道路に様変わりを進め、道幅も広がっています。世界遺産のプレアヴィヒア寺院の麓にある村なので、コロナウイルスが落ち着いて、再び観光客が訪れやすい開発が進んでいます。

